



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
コード番号 9776 URL <https://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 忠應

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 南 誠

TEL 011-613-3210

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	20,127	5.3	1,008	34.4	1,159	27.8	568	45.5
2022年3月期	19,109	9.2	1,537	34.6	1,605	35.1	1,042	31.4

(注) 包括利益 2023年3月期 649百万円 (36.3%) 2022年3月期 1,019百万円 (20.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	170.53		5.5	7.1	5.0
2022年3月期	306.16		10.8	10.5	8.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	16,521	10,880	64.1	3,178.25
2022年3月期	16,149	10,337	62.6	3,016.24

(参考) 自己資本 2023年3月期 10,585百万円 2022年3月期 10,114百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,430	409	347	3,654
2022年3月期	1,573	830	112	2,980

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		23.00	23.00	77	7.5	0.8
2023年3月期		0.00		23.00	23.00	76	13.5	0.7
2024年3月期(予想)		0.00		23.00	23.00			

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,457	5.1	191	61.1	161	72.5	82	68.1	24.54
通期	19,556	2.8	541	46.3	486	58.0	307	45.9	92.28

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.12「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	4,216,000 株	2022年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	2023年3月期	885,422 株	2022年3月期	862,722 株
期中平均株式数	2023年3月期	3,334,433 株	2022年3月期	3,406,315 株

(参考)個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	17,613	0.7	705	51.8	895	42.9	471	53.9
2022年3月期	17,737	8.3	1,463	33.1	1,567	33.9	1,024	29.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	141.47	
2022年3月期	300.67	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	14,487	10,212	70.5	3,066.27
2022年3月期	14,440	9,839	68.1	2,934.15

(参考) 自己資本 2023年3月期 10,212百万円 2022年3月期 9,839百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,257	5.9	224	42.3	151	22.7	45.30
通期	16,914	4.0	522	41.6	355	24.7	106.71

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、行動制限の緩和等により、社会経済活動は徐々に正常に向かい、景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しております。一方で長期化するロシアのウクライナ侵攻に起因する世界的な原油価格、原材料価格の上昇や円安の進行等により個人消費が冷え込むなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、医療費抑制政策等の社会的要請を背景に、引き続き後発医薬品の使用拡大及びセルフメディケーションに対する取組み強化等の対応が求められるとともに、継続的な薬価改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、更なる経営努力が求められる厳しい事業環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、感染症の影響を踏まえた計画のもと、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な企業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得等による営業基盤の拡大と継続的な経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高20,127百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益1,008百万円（同34.4%減）、経常利益1,159百万円（同27.8%減）及び親会社株主に帰属する当期純利益568百万円（同45.5%減）と売上高は過去最高となりましたが、減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、診療報酬の改定に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける状況下において、PCR検査の診療報酬の引下げがありました。PCR検査の受託数が増加したことに加え、前期に稼働した子会社2社の業績が順調に推移したことから、売上高8,275百万円（前年同期比11.2%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、前述のPCR検査の診療報酬の引下げに加え、PCR検査の受託増による経費の増加及び人件費が増加したことから、セグメント利益563百万円（同45.0%減）と前年同期を下回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、診療報酬の改定と薬価改定による薬価の引下げに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける状況下において、薬局を1店舗閉鎖しましたが、前期に開局した2店舗、当期開局した1店舗及びO.T.Cの売上増により、売上高10,693百万円（同1.1%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、前述の前期開局した2店舗、当期開局した1店舗、並びに既存店舗の設備投資等により経費が増加したことから、セグメント利益821百万円（同6.6%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、消耗品の販売及び福祉用具の貸与が前年同期を上回ったことから、売上高1,046百万円（同6.3%増）となりましたが、利益は、セグメント損失4百万円（前年同期はセグメント利益10百万円）と前年同期を下回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高112百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益75百万円（同6.6%増）になりました。

(2) 当期の財政状態の概況

区分	当期	前期	増減
総資産（百万円）	16,521	16,149	371
純資産（百万円）	10,880	10,337	543
自己資本比率（%）	64.1	62.6	1.5
1株当たり純資産（円）	3,178.25	3,016.24	162.01

当連結会計年度末における資産総額は、前年同期末に比し371百万円増加し16,521百万円（前年同期末比2.3%増）となりました。

流動資産は前年同期末に比し81百万円増加し7,310百万円（同1.1%増）となりました。

主な要因は、売掛金が76百万円、その他が544百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が673百万円、商品及び製品が22百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は前年同期末に比し290百万円増加し9,210百万円（同3.3%増）となりました。

主な要因は、建物及び構築物が212百万円、リース資産が26百万円、長期前払費用が25百万円それぞれ減少しましたが、建設仮勘定が417百万円、工具、器具及び備品が145百万円、無形固定資産が29百万円それぞれ増加したことによるものです。

当連結会計年度末における負債総額は、前年同期末に比し171百万円減少し5,640百万円（同2.9%減）となりました。

流動負債は前年同期末に比し25百万円減少し3,256百万円（同0.8%減）となりました。

主な要因は、未払金が178百万円、その他が82百万円それぞれ増加しましたが、未払法人税等が204百万円、支払手形及び買掛金が79百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前年同期末に比し145百万円減少し2,383万円（同5.8%減）となりました。

主な要因は、長期借入金が133百万円、リース債務が41百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は前年同期末に比し543百万円増加し10,880百万円（同5.3%増）となりました。また、自己資本比率につきましては、前年同期末比1.5%増加し64.1%となり、1株当たり純資産につきましては、前年同期末比162円01銭増加し、3,178円25銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

区分	当期	前期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	1,430	1,573	△143
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△409	△830	421
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△347	△112	△235
現金及び現金同等物の増減額（百万円）	673	629	43
現金及び現金同等物期末残高（百万円）	3,654	2,980	673

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー1,430百万円の資金増加、投資活動によるキャッシュ・フロー409百万円の資金減少及び財務活動によるキャッシュ・フロー347百万円の資金減少の結果、資金は673百万円増加し3,654百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

当連結会計年度における各連結キャッシュ・フローの状況と増減要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、1,430百万円（同9.1%減）となり、前年同期に比し143百万円減少いたしました。

主な要因は、法人税等の支払額476百万円（同64百万円増）がありましたが、税金等調整前当期純利益959百万円（同542百万円減）、減価償却費519百万円（同27百万円減）、減損損失131百万円（同102百万円増）、売上債権の減少額76百万円（前年同期は244百万円の増加）、有形固定資産除却損68百万円（前年同期比67百万円増）及びその他の資産・負債の増減額88百万円（同29百万円増）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は、409百万円（前年同期比50.8%減）となり、前年同期に比し421百万円減少いたしました。

主な要因は、有形固定資産売却による収入395百万円（同301百万円増）及び無形固定資産売却による収入81百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出811百万円（同26百万円減）及び固定資産除却による支出65百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、347百万円（同208.6%増）となり、前年同期に比し235百万円増加いたしました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出133百万円（同0百万円減）、リース債務の返済による支出が107百万円（同82百万円増）、配当金の支払額77百万円（同1百万円減）及び自己株式の取得による支出29百万円（同65百万円減）によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第56期 2020年3月期	第57期 2021年3月期	第58期 2022年3月期	第59期 2023年3月期
自己資本比率 (%)	73.3	63.9	62.6	64.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	47.3	36.1	26.9	25.5
債務償還年数 (年)	0.1	2.5	1.6	1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	577.0	307.8	174.3	176.8

- (注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
 債務償還年数 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）より算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は、行動制限の緩和等により社会経済活動は徐々に正常に向かうことが見込まれます。一方で長期化するロシアのウクライナ侵攻に起因する世界的な原油価格、原材料価格の上昇や円安の進行等により、景気の先行きは不透明な状況が継続するものと思われま

す。医療業界におきましても、行動制限の緩和により、一般患者の医療機関の受診控えは緩和することが見込まれるものの依然先行きは不透明な状況が継続すると思われま

す。このような状況下、新規・既存顧客との取引拡大と経費削減を進めてまいりますが、PCR検査等の需要の落ち込みは避けられず、加えて原油価格の高騰等経営環境は一段と厳しさを増しております。

これらにより、当社グループ全体での2024年3月期の連結業績予想は、売上高は19,556百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益541百万円（同46.3%減）、経常利益486百万円（同58.0%減）及び親会社株主に帰属する当期純利益307百万円（同45.9%減）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分につきましては、中長期戦略を踏まえ、経営基盤の強化及び将来の事業展開に対応した内部留保の確保並びに株主の皆様への安定した配当の実現を基本としております。

2024年3月期末を基準日とする期末配当につきましては、利益配分の方針、財務状態等を総合的に勘案し、1株につき23円とする予定であります。内部留保金につきましては、収益力の一層の向上を図るため、業容拡大及び設備投資等の資金に充当する方針でございます。

また、次期の配当につきましては、薬価改定に加え、感染症の影響が見通せない状況ではありますが、23円配当を継続する所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,990,653	3,664,081
受取手形	1,545	1,448
売掛金	3,022,184	2,945,696
商品及び製品	409,540	431,748
仕掛品	26,799	20,215
原材料及び貯蔵品	54,352	62,760
その他	753,319	208,453
貸倒引当金	△28,751	△23,519
流動資産合計	7,229,644	7,310,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,960,833	4,442,450
減価償却累計額	△1,297,726	△992,174
建物及び構築物(純額)	3,663,106	3,450,275
機械装置及び運搬具	27,089	24,659
減価償却累計額	△22,030	△21,776
機械装置及び運搬具(純額)	5,059	2,883
工具、器具及び備品	2,148,429	2,394,117
減価償却累計額	△1,766,731	△1,867,410
工具、器具及び備品(純額)	381,697	526,706
土地	3,429,506	3,429,506
リース資産	715,290	782,266
減価償却累計額	△66,959	△160,606
リース資産(純額)	648,331	621,660
建設仮勘定	—	417,978
有形固定資産合計	8,127,702	8,449,010
無形固定資産		
その他	60,128	89,958
無形固定資産合計	60,128	89,958
投資その他の資産		
投資有価証券	142,407	149,763
長期貸付金	7	—
長期前払費用	29,916	4,169
差入保証金	179,172	164,486
繰延税金資産	162,164	146,473
その他	235,146	223,373
貸倒引当金	△16,841	△16,841
投資その他の資産合計	731,974	671,426
固定資産合計	8,919,805	9,210,395
資産合計	16,149,449	16,521,281

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,258,565	2,179,195
1年内返済予定の長期借入金	133,692	133,692
リース債務	106,041	127,602
未払法人税等	294,056	89,644
賞与引当金	120,975	125,073
未払金	125,075	303,901
資産除去債務	28,000	—
その他	215,389	297,404
流動負債合計	3,281,795	3,256,514
固定負債		
長期借入金	1,732,321	1,598,629
リース債務	610,978	569,426
役員退職慰労引当金	66,870	69,592
退職給付に係る負債	16,107	18,639
長期未払金	97,363	90,414
繰延税金負債	—	16,594
その他	6,053	20,483
固定負債合計	2,529,694	2,383,779
負債合計	5,811,490	5,640,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	8,812,690	9,304,184
自己株式	△728,236	△757,451
株主資本合計	10,083,073	10,545,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,227	40,044
その他の包括利益累計額合計	31,227	40,044
非支配株主持分	223,659	295,588
純資産合計	10,337,959	10,880,986
負債純資産合計	16,149,449	16,521,281

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	19,109,595	20,127,692
売上原価	12,788,082	13,829,518
売上総利益	6,321,513	6,298,173
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	276	—
役員報酬	123,210	125,524
給料手当及び賞与	2,301,962	2,523,989
賞与引当金繰入額	86,944	88,835
退職給付費用	23,051	26,624
役員退職慰労引当金繰入額	9,485	9,718
法定福利費	379,924	420,387
賃借料	56,509	69,174
地代家賃	319,969	306,889
消耗品費	141,656	138,936
減価償却費	145,116	172,083
租税公課	559,084	625,333
その他	637,094	782,143
販売費及び一般管理費合計	4,784,287	5,289,639
営業利益	1,537,225	1,008,533
営業外収益		
受取利息	276	216
受取配当金	5,812	5,346
受取賃貸料	44,645	40,432
助成金収入	69,111	149,331
受取保険料	5,589	743
貸倒引当金戻入額	—	5,201
その他	9,561	14,920
営業外収益合計	134,997	216,192
営業外費用		
支払利息	9,027	8,168
賃貸収入原価	50,749	45,110
その他	6,827	11,996
営業外費用合計	66,604	65,276
経常利益	1,605,618	1,159,449
特別利益		
固定資産売却益	11,429	18
特別利益合計	11,429	18
特別損失		
固定資産売却損	10,960	—
固定資産除却損	906	68,703
減損損失	28,552	131,065
本社移転費用	74,486	—
特別損失合計	114,905	199,769
税金等調整前当期純利益	1,502,142	959,698
法人税、住民税及び事業税	451,902	288,402
法人税等調整額	3,699	30,746
法人税等合計	455,601	319,148
当期純利益	1,046,541	640,549
非支配株主に帰属する当期純利益	3,659	71,929
親会社株主に帰属する当期純利益	1,042,882	568,619

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,046,541	640,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,201	8,817
その他の包括利益合計	△27,201	8,817
包括利益	1,019,339	649,366
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,015,680	577,437
非支配株主に係る包括利益	3,659	71,929

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	7,848,543	△633,207	9,213,955
当期変動額					
剰余金の配当			△78,735		△78,735
親会社株主に帰属する当期純利益			1,042,882		1,042,882
自己株式の取得				△95,028	△95,028
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	964,146	△95,028	869,117
当期末残高	983,350	1,015,270	8,812,690	△728,236	10,083,073

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	58,429	58,429	—	9,272,384
当期変動額				
剰余金の配当				△78,735
親会社株主に帰属する当期純利益				1,042,882
自己株式の取得				△95,028
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△27,201	△27,201	223,659	196,457
当期変動額合計	△27,201	△27,201	223,659	1,065,575
当期末残高	31,227	31,227	223,659	10,337,959

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	8,812,690	△728,236	10,083,073
当期変動額					
剰余金の配当			△77,125		△77,125
親会社株主に帰属する当期純利益			568,619		568,619
自己株式の取得				△29,214	△29,214
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	491,494	△29,214	462,279
当期末残高	983,350	1,015,270	9,304,184	△757,451	10,545,353

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	31,227	31,227	223,659	10,337,959
当期変動額				
剰余金の配当				△77,125
親会社株主に帰属する当期純利益				568,619
自己株式の取得				△29,214
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,817	8,817	71,929	80,747
当期変動額合計	8,817	8,817	71,929	543,026
当期末残高	40,044	40,044	295,588	10,880,986

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,502,142	959,698
減価償却費	547,004	519,096
減損損失	28,552	131,065
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,647	2,531
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,765	4,098
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△785	△5,232
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,485	9,718
受取利息及び受取配当金	△6,088	△5,562
支払利息	9,027	8,168
有形固定資産売却損益 (△は益)	△469	△18
有形固定資産除却損	906	68,703
預り保証金の増減額 (△は減少)	1,401	14,430
売上債権の増減額 (△は増加)	△244,773	76,584
棚卸資産の増減額 (△は増加)	16,666	△24,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△146,355	21,974
長期前払消費税等の増減額 (△は増加)	13,469	14,143
未収消費税等の増減額 (△は増加)	191,536	31,968
その他の資産・負債の増減額	59,284	88,717
小計	1,988,417	1,916,053
利息及び配当金の受取額	5,923	5,458
利息の支払額	△9,030	△8,091
法人税等の支払額	△411,682	△476,074
役員退職慰労金の支払額	—	△6,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,573,628	1,430,350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△838,024	△811,059
有形固定資産の売却による収入	94,633	395,759
無形固定資産の取得による支出	△110,345	△14,847
無形固定資産の売却による収入	—	81,260
固定資産の除却による支出	—	△65,818
長期貸付金の回収による収入	118	7
投資有価証券の償還による収入	3,000	3,000
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
資産除去債務の履行による支出	—	△20,000
その他	19,658	22,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△830,960	△409,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△133,987	△133,692
リース債務の返済による支出	△25,118	△107,939
自己株式の取得による支出	△95,028	△29,214
非支配株主からの払込みによる収入	220,000	—
配当金の支払額	△78,604	△77,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,738	△347,894
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	629,929	673,427
現金及び現金同等物の期首残高	2,350,691	2,980,620
現金及び現金同等物の期末残高	2,980,620	3,654,048

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として病院等の診療に必要な臨床検査の受託業務を行う「臨床検査事業」と、調剤薬局店舗を経営する「調剤薬局事業」及び高度医療機器から一般医療機器、理化学機器等の販売並びに保守を行う「医療機器販売・保守事業」の3事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,442,596	10,580,812	983,768	19,007,177	102,417	19,109,595
外部顧客への売上高	7,442,596	10,580,812	983,768	19,007,177	102,417	19,109,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,179,547	1,179,547	906	1,180,454
計	7,442,596	10,580,812	2,163,316	20,186,725	103,323	20,290,049
セグメント利益	1,025,026	879,458	10,459	1,914,944	70,568	1,985,512
セグメント資産	4,308,708	3,292,729	816,395	8,417,834	23,560	8,441,394
その他の項目						
減価償却費(注)	324,294	87,424	8,316	420,036	138	420,174
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,479,096	148,959	3,908	1,631,964	8,187	1,640,152

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	8,275,287	10,693,752	1,046,082	20,015,123	112,568	20,127,692
外部顧客への売上高	8,275,287	10,693,752	1,046,082	20,015,123	112,568	20,127,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	675,648	675,648	3,414	679,062
計	8,275,287	10,693,752	1,721,730	20,690,771	115,982	20,806,754
セグメント利益	563,760	821,327	△4,575	1,380,512	75,198	1,455,710
セグメント資産	3,990,932	3,280,499	744,814	8,016,246	44,447	8,060,694
その他の項目						
減価償却費（注）	249,577	120,367	7,725	377,670	1,792	379,463
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	378,539	139,062	7,462	525,064	354	525,418

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,186,725	20,690,771
「その他」の区分の売上高	103,323	115,982
セグメント間取引消去	△1,180,454	△679,062
連結財務諸表の売上高	19,109,595	20,127,692

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,914,944	1,380,512
「その他」の区分の利益	70,568	75,198
セグメント間取引消去	5,204	9,652
全社費用（注）	△453,491	△456,829
連結財務諸表の営業利益	1,537,225	1,008,533

(注) 「全社費用」の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,417,834	8,016,246
「その他」の区分の資産	23,560	44,447
セグメント間消去	△496,552	△579,184
全社資産(注)	8,204,607	9,039,771
連結財務諸表の資産合計	16,149,449	16,521,281

(注) 「全社資産」の主なものは、当社での余剰資金、長期投資資金等に係る資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	420,036	377,670	138	1,792	126,829	139,632	547,004	519,096
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,631,964	525,064	8,187	354	△72,577	455,850	1,567,574	981,269

(注) 「減価償却費」には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

(単位：千円)

	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	28,552	28,552

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

(単位：千円)

	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	52,928	—	—	78,137	131,065

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,016円24銭	1株当たり純資産額	3,178円25銭
1株当たり当期純利益	306円16銭	1株当たり当期純利益	170円53銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,042,882	568,619
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,042,882	568,619
期中平均株式数 (千株)	3,406	3,334